

第 3 章

戦争中のロシアの知事人事

大阪大学大学院法学研究科准教授 鳥飼将雅

2024 年 5 月 11 日、ミハイル・ミシュスティン首相は 10 名の副首相と 21 名の大臣からなる新たな組閣案を下院の国家ドゥマに提出した。この組閣案は同月 14 日までに下院を通過し、同日のヴラディミール・プーチン大統領が組閣の大統領令への署名により、新たな内閣が承認された。ウクライナとの戦争中にもかかわらず最も重要な国防相が交代¹したことや元 FSB 長官で国家安全保障会議書記として重要なアクターであるニコライ・パトルシェフの息子ドミトリーの副首相就任など、重要な論点はいくつかある。本稿で検討したいのは、連邦構成主体の知事経験者の閣僚任命である。

新内閣では、知事から大臣に任命された者が 4 人いる。1986 年生まれと弱冠 37 歳ながら工業貿易相に任命されたアントン・アリハノフは、カリーニングラード州知事を 2016 年から務めていた。2015 年まで法務省で務めたのち、カリーニングラード州副知事を経て知事に任命された²。

クルスク州知事ロマン・スタロヴォイトは、運輸相に任命された。2005 年から 2010 年までサンクトペテルブルク市行政府で働き、2012 年から 2018 年まで運輸省内にある連邦道路庁の長官を務めていた。2019 年からクルスク州知事に任命され、2022 年のウクライナ侵攻開始後は、前線の州として防衛に力を注いだ。彼は建設関係で有力なオリガルヒのアルカディー・ロテンベルグ(古くからのプーチンの柔道仲間として有名)と近いと言われる³。

2018 年からケメロヴォ州知事を務めていたセルゲイ・ツイヴィリヨフは、エネルギー相に任命された。彼は 2014 年からサハ共和国(ヤクーチヤ)の石炭採掘企業の社長を務めていたため、石炭産業で有名なケメロヴォ州⁴の知事として適格だった。1997 年から 2018 年まで 20 年以上にわたって知事を務めたアマン・トゥレエフの後を継いで、州内の政治経済の安定を維持したツイヴィリヨフは、連邦全体のエネルギー戦略に責任を持つポストを得た⁵。

最後に、スポーツ相に任命されたミハイル・デグチャリオフは、2020 年からハバロフスクライの知事を務めていた。与党統一ロシアではなく、野党出身(ロシア自由民主党)の唯一の閣僚である。

ハバロフスクライの知事として、デグチャリオフは非常に困難な情勢に対応してきた。前知事セルゲイ・フルガルをめぐるスキャンダルがあったためである。フルガルは 2018 年知事選で野党のロシア自由民主党黨員として立候補し、与党統一ロシアの候補(当時の現職知事)を下して、知事に就任した。この知事選では現職知事への不満票をフルガルが吸収したとされ、フルガル自体にはさほどの人気はなかったとされている。しかし彼はさまざまな改革を進め、急速に地歩を固めていった。独立した影響力を強めつつあるフルガルに、クレムリンは徐々に警戒を強めていった。2020 年 7 月に、2005 年の殺人に関与していたとして逮捕された⁶。

この逮捕の裏には政治的な思惑があるとみなしたハバロフスクライの住民は、大規模な抗議運動を組織した。デグチャリオフは自由民主党の黨員ではあったものの、ハバロフスクライや極東での勤務経験がなく、ハバロフスクのエリートにも住民にも歓迎されなかった⁷。こうした難局をなんとか乗り切った末に、(あまり重要でないポストとはいえ)大臣職を得た。

もう一人重要な人物として、大統領補佐および国家評議会⁸書記に任命されたアレクセイ・デュミンがいる。彼はプーチンのボディガードとして務めたのち、2016 年からトゥーラ州知事を務めていた。一時はプーチンの後継者という噂も出るほどの実力者であった。大統領補佐は大統領に近いものの、政策形成・執行に対して実質的な権限は持たない。元ロシア連邦保安庁長官(1999-2008 年)・元国家安全保障会議書記(2008-2024 年)を務めていたニコライ・パトルシェフも大統領補佐に任命されたことを鑑みると、この人事を昇進と捉えるか降格と捉えるかは今のところ難しい。

さらに、デグチャリョフを除く 4 例では、後任の知事は全て副知事から選出された⁹。ロシアにおける非公式なエリート間の恩顧庇護関係(patron-client relations)を考えると、退任して大臣職を得た元知事たちは、退任後も新知事を通じて当地に一定の影響力を発揮できると考えられる。

クレムリンは 2000 年代から、地方ボスたちを少しずつ連邦政府に従順なテクノクラートへと置換してきたが、徐々に地方に新たなクランが形成されつつあるという指摘もある¹⁰。

最大の例は、ウラル連邦管区におけるセルゲイ・ソビヤニン人脈である。ソビヤニンは 2001 年から 2005 年までウラル連邦管区に位置するチュメニ州知事を務め、その後ロシア連邦大統領府長官、副首相を経て、2010 年からモスクワ市長を務めている。ウラル連邦管区大統領全権を 2024 年まで務めていたヴラディミル・ヤクシェフはソビヤニンの下でチュメニ州副知事を務めたのち、ソビヤニンの後を継いでチュメニ州知事となった。2018 年には建設・住宅公共サービス相に任命され、2020 年にウラル連邦管区全権となった。ヤクシェフはウラル連邦管区全域にわたって、影響力を維持していた。2024 年 6 月には後述のトゥルチャクの後を襲って統一ロシア総評議会議長となり、さらに 9 月には上院の第一副議長となった。

そのほかにも、2024 年に新たにハンティ＝マンシ自治管区知事に任命されたルスラン・クハルルクはチュメニ市長(2018-2024 年)を務めていた。つい先日 2025 年 3 月に退任したスヴェルドロフスク州知事のエフゲニー・クイヴァシェフも、2012 年に知事に就任する前にはチュメニ市長(2007-2011 年)を務めていた。これ以外にも各地の知事や市長に、ソビヤニンを中心としたチュメニ州人脈が浸透している¹¹。

知事退任後の経歴：知事退任直後に得た職のみ						
	全体	1991-1999 エリツィン大統領期	2000-2004 プーチン第一期	2005-2008 プーチン第二期	2008-2012 メドヴェージェフ大統領期	2012-2021 プーチン第三期以降
連邦議会						
連邦院(上院)	44	1	6	4	15	18
国家ドゥーマ(下院)	13	3	3	2	2	3
連邦行政機関						
(副)大臣 & 大統領府(副)長官	34	10	2	2	6	14
連邦管区	12	—	2	2	3	5
大統領・大臣・首相の顧問・アドヴァイザー	10	0	2	5	1	2
連邦行政機関の地方支部	10	9	0	0	1	0
その他の連邦行政機関	15	4	2	2	2	5
地方の行政・議会						
地方の行政職(知事以外)	7	5	0	0	1	1
地方議会議員	8	3	3	0	1	1
他の地方の知事	5	0	1	0	1	3
その他						
在任中の死	14	2	5	3	2	2
教育・研究関連	8	2	1	0	2	3
国営企業	14	0	0	2	3	9
外交関連職	8	5	0	1	1	1
逮捕	19	2	1	2	1	13
その他	50	21	7	3	8	11
データなし	56	20	10	7	4	15
合計	327	87	45	35	54	106
出典：Masatomo Torikai (2023) Integrating Governor Posts Into the Federal Bureaucratic Structure: Resignation and Post-Tenure Careers of Governors in Russia, Europe-Asia Studies, 75: 10, 1664.						

知事から連邦重要ポストへの転身というケースが増えてきたのは、実は比較的近年になってからである。1990 年代には、連邦の役人人事と地方の役人人事は、ほとんど連動していなかった。ボリス・エリツィン大統領の時代には、連邦のポストは非常に不安定であり、頻繁に交代させられていた。表に示されているとおり、エリツィン政権下で 10 人の知事が大臣に任命されているが、多くはすぐに交代させられている。そのため、多くの知事の目には連邦の大臣職は魅力的に映らなかった。

対して、特にプーチン大統領第三期以降(2012 年以降)は、(副)大臣や大統領府(副)長官など重要なポストに着く人が増えた。さらにトルトネフや、モスクワ市長を 2010 年から務めるソビヤニンなど、知事から抜擢されて長期にわたって重要職を務める

者も増えてきた。知事ポストはもはや、1990年代のように地方ボスによって占拠され連邦の人事戦略から隔離した存在ではない。連邦全体の人事政策に統合された官僚制の一ポストへと変貌してきたのである¹²。

その他の知事人事も興味深い。2010年からハンティ＝マンシ自治管区の知事を14年にわたって務めていたナタリヤ・コマロヴァは、連邦院(上院)の議員となった。コマロヴァは2024年時点で唯一の女性の知事であり、2010年2月から14年以上にわたって石油と天然ガスの一大産地として重要な同地の知事を務めてきた¹³。

コマロヴァに注目が集まったのは、2023年10月の同管区内で2番目に人口の多いニジネヴァルトフスク市で開かれた動員兵の妻の会での発言がきっかけだった。質問に回答する中でコマロヴァは、「我々はこの戦争に準備ができていなかった。我々にはこの戦争は必要なかった」と発言し、物議をかもした¹⁴。この発言が軍の名誉毀損に当たるのではないかと指摘されたのだ¹⁵。この発言との関連は定かではないが、2024年5月にコマロヴァは知事を解任され、その翌月には新たに任命された知事代行が彼女を上院議員として任命する方針であることを明らかにした¹⁶。

ハバロフスクライでは、デグチャリョフの後を襲って、ドミトリー・デメシンが任命された。デメシンは2019年から最高検察庁副長官(極東担当)を務めており、フルガル事件に示されるようにモスクワへの潜在的な敵意が高いこの地方の知事にうってつけと考えられた¹⁷。

アンドレイ・トゥルチャクのアルタイ共和国知事任命も、注目を集めた。トゥルチャクの父アナトリーは、プーチンが1990年代前半にサンクトペテルブルク市行政に務めていた頃からの知り合いである。そのコネもあってか、2009年アンドレイは弱冠33歳にしてプスコフ州知事に任命された。2017年には、連邦院議員になると同時に与党統一ロシアの総評議会書記に就任し、同党の実質的な舵取りを任されることとなった。

そうしたプーチン体制の「寵児」とも言えたトゥルチャクの、アルタイ共和国知事への任命は、専門家を驚かせた。アルタイ共和国は、シベリア連邦管区に属し、モンゴル・中国・カザフスタンとの国境の山岳地帯に位置する民族共和国であり、ロシアの中でも最も貧しい地域の一つである。故郷のサンクトペテルブルク市知事や上院議長への就任を狙っていたと言われるトゥルチャクにとっては、明らかに理想とかけ離れたポストだった¹⁸。

この「左遷」の大きな理由として、地方議会選挙においてウクライナ戦争からの帰還兵を統一ロシアの候補者に組み込む戦略に失敗したことが挙げられている。この人事の確かな理由は今もわかっていないが、コマロヴァの例と合わせて考えると、戦争への貢献をアピールすることに失敗した場合、有力なポストを失うという傾向は指摘できるだろう¹⁹。シロヴィキ出身者のハバロフスクライ知事の着任と合わせて考えても、戦争を中心とした抑圧的な体制の傾向を感じることができる。

¹ セルゲイ・ショイグから、アンドレイ・ベロウソフに交代した。ベロウソフは2020年から第一副首相を務めており、経済関連分野で高い評価を受けていた。

² Коммерсантъ, 12 мая, 2024. <https://www.kommersant.ru/doc/3108494>

³ Re:Russia, May 16, 2024. <https://re-russia.net/en/analytics/0151/>

⁴ ケメロヴォ州は、「クズバス(Кузбасс: Кузнецкий угольный бассейн クズネツク炭田の略)」という別称でも有名である。2019年3月の大統領令により、「クズバス」は公式にケメロヴォ州の別称として用いられるようになった。

⁵ Коммерсантъ, 14 мая, 2024. <https://www.kommersant.ru/doc/6691918>

⁶ BBC, 10 июля, 2020. <https://www.bbc.com/russian/features-53356119>

⁷ BBC, 21 июля, 2020. <https://www.bbc.com/russian/features-53481688>

⁸ 2000年に形成された諮問機関。もともとは大統領と知事によって構成されていたが、その後上下両院の議長や首相、大統領府長官、各連邦管区の大統領全権など、連邦レベルで重要なエリートメンバーとなった。もともと憲法では言及されていなかったが、2020年の憲法改正で規定が追加されたことで、重要性を増した。

⁹ ただし、クルスク州知事のアレクセイ・スミルノフは州知事当選後わずか 3 ヶ月後に自己都合で退任した。ウクライナ軍による占領が続いていたクルスク州において、住民との間のコミュニケーションに問題が生じたと、前知事のスタロヴォイトは説明している。Медуза, 6 декабря, 2024.

<https://meduza.io/news/2024/12/06/byvshiy-glava-kurskoy-oblasti-ob-yasnil-smenu-rukovodstva-regiona-tem-cto-u-gubernatora-voznikli-problemy-s-nalazhivaniem-kommunikatsiy-s-lyudmi>

¹⁰ Andrey Pertsev. "Russia's Political Sclerosis Is Creating Regional Fiefdoms." Carnegie Politika, July 2, 2024.

<https://carnegieendowment.org/russia-eurasia/politika/2024/07/regional-clans-russia?lang=en>

¹¹ 72.ru, 21 августа, 2024. <https://72.ru/text/politics/2024/08/21/73952084/>

¹² Masatomo Torikai. 2023. "Integrating Governor Posts Into the Federal Bureaucratic Structure: Resignation and Post-Tenure Careers of Governors in Russia," Europe- Asia Studies, 75:10, 1651-1676.

¹³ 解任時点では、チェチェン共和国知事のラムザン・カディロフ(2007 年 2 月着任)に次いで、2 番目に長く知事を務めていた。

¹⁴ この発言は以下の動画で確認できる。 <https://www.youtube.com/watch?v=pL1rtUF23W0>

¹⁵ Газета.ру, 30 мая, 2024. <https://www.gazeta.ru/politics/2024/05/30/19169125.shtml?updated>

¹⁶ Новая газета Европа, 2 июня, 2024. <https://novayagazeta.eu/articles/2024/06/02/ushedshuii-v-otstavku-glavu-khmao-nataliu-komarovu-naznachat-senatorom-ot-regiona-news>

¹⁷ Медуза, 12 июля, 2024. <https://meduza.io/feature/2024/07/12/maska-cheloveka-prirosla-k-litsu-silovika>

¹⁸ Riddle, June 5, 2024. <https://ridl.io/putin-fails-his-star-student/>

¹⁹ Re:Russia, June 13, 2024. <https://re-russia.net/en/analytics/0162/>